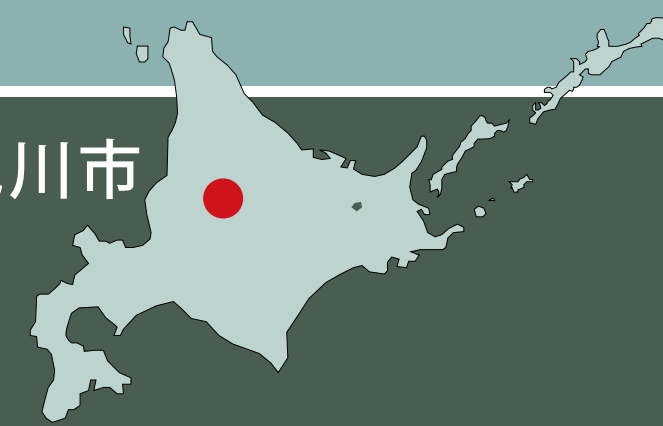


神楽岡公園・上川神社境内域 (旭川市)



上川離宮の予定地であったことから、
一団の緑が残されることになった

上川開拓時の名残を留める大きな緑

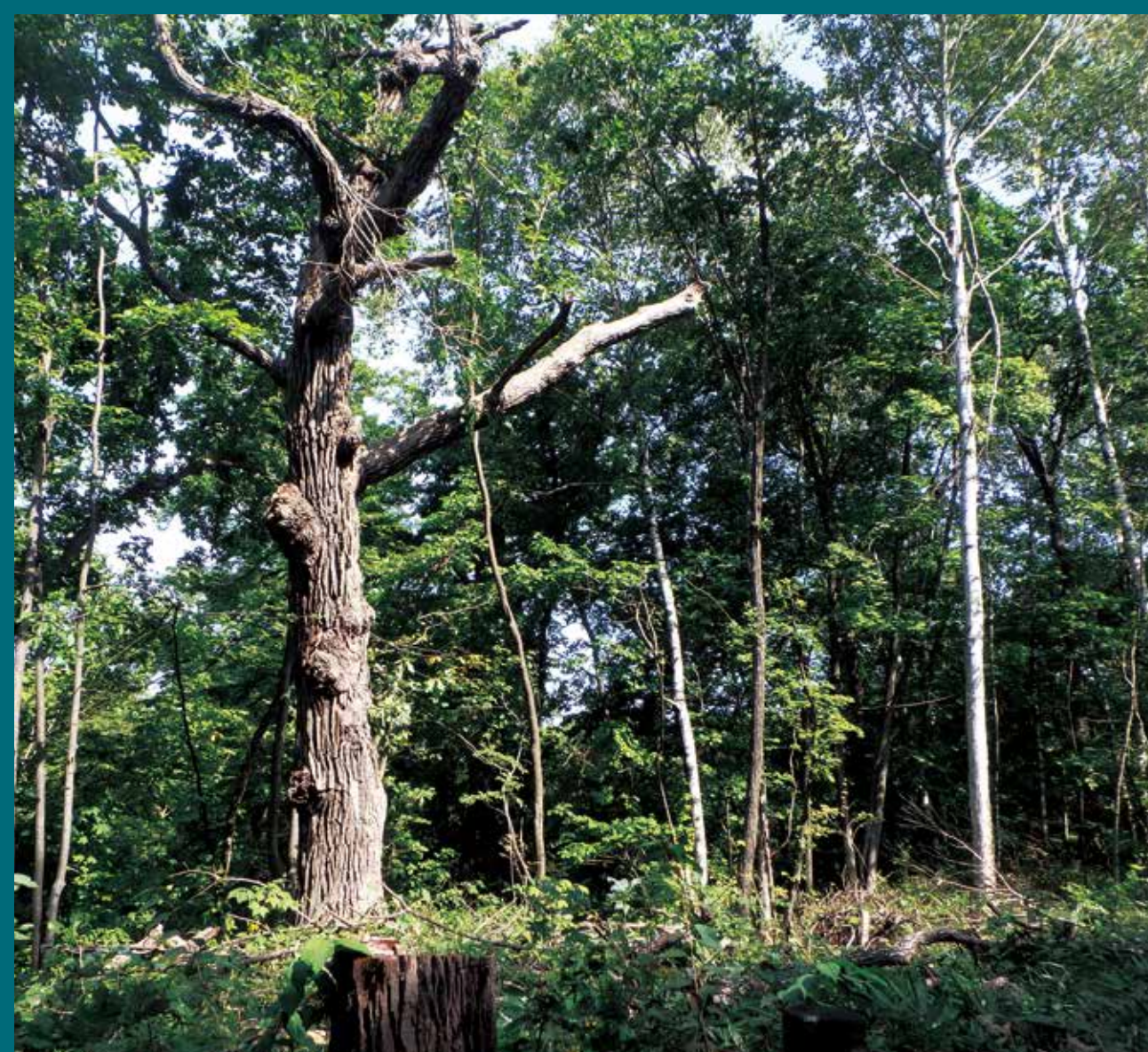
旭川市街の中心部に近く、忠別川のほとりに位置するこの地は、ハルニレ、ドロノキ、ミズナラ等の大木が茂る、河川敷と起伏に富んだ丘陵地からなり、明治 20 年代には、上川地方開拓に際して唱えられた北京論を受け、上川離宮予定地とされていた。離宮造営が立ち消えたあと御料林になっていたものを、1914(大正 3)年に当時の旭川区が借り受けて公園とした。

1924(大正 13)年にはその一部に上川神社が移転・落成し、公園内には園路広場の造成やエゾヤマザクラの植樹が行われた。散策、花見、遠足、歩くスキーなど、四季を通じて多くの市民が憩う空間となっている。

現在までに様々な公園施設が造られてきたが、すっかり市街地に囲まれた現在も、大きな一団の樹林地(約 48ha)を保っている希有な存在であり、幻に終わった開拓時の壮大な構想に思いをはせる貴重な場所となっている。



旭川駅にも近く、これだけまとまった緑は大変貴重である



自然生態観察公園区域には、
ミズナラなどの巨木も残されている

概 要

名 称	神楽岡公園	上川神社
所 在 地	旭川市神楽岡公園	
管 理 者	旭川市	上川神社
規 模	43.0ha	5.1ha
種 別 等	都市公園 (総合)	神 社
開設年等	1914(大正 3)年開園 1949(昭和 24)年都市計画決定	1893(明治 26)年創祀 1924(大正 13)年現在地に奉遷